

【新年のご挨拶】

新年おめでとうございます。平成26年を迎え、みなさまの無事故とご健康をお祈りいたします。カレンダーの関係で、例年よりは長い年末年始の休暇になった方が多いのではないのでしょうか。

天候面では比較的穏やかな正月で、まずは順調なスタートを切ることができたと思います。昨年は株価の上昇もあり、少し明るい兆しも見えましたが、地方経済までは浸透していないという声が、大勢を占めておりました。今年は地方においても、景気回復を実感できる年になってほしいと思います。

協会の仕事は6日から開始し、最初の全体的な行事として10日には「安全祈願祭」と「役員新年会」を開催いたします。会員の皆様には今年もご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



以下、「協会通信」の前号にあたる、12月号から正月7日の今日までの活動を中心に活動報告をいたします。

<協会の最近の活動報告>

「VDT業務従事者教育」を開催 11月26日

パソコンのディスプレイや生産設備に付属している、画像をモニターして仕事をするのは当たり前になっておりますが、これらの画面を長時間見続けると、さまざまな障害を起こす可能性があります。

いくら便利なもので、有用性が高いものでも、その特性を知って、適切に管理しなければなりません。

VDT講習会は県内では須賀川労働基準協会だけが実施している関係で、受講生は少ないのですが、県内各地から受講していただいております。

今年は相馬市からも受講していただきました。



「アーク溶接講習」を開催 12月14日/15日

アーク溶接講習会は年に一度だけ開催されておりますが、「実技講習」も実施している講習会は県内では珍しく、根強い需要がある講習会です。電気を使ったアーク溶接は大変便利な設備ですが、危険性もあり、事故としては「感電」「火災」「中毒」など様々な事故が発生しております。きちんとした教育を受けなければならない業務なのです。



<二つの写真とも眩しそうですね。裸眼での直視はできません>

